

よくある質問【Q&A】

Q： 部屋はどうやってきめるの？

A： 小牛田の寄宿舍は、県内高等学園の中で唯一2人部屋制をとっています。1年生は1年生同士で部屋を組むことになります。入学前にある【入舎相談】にて、お子さんと保護者と面談して、健康上や特性上の配慮事項がある場合は、そのことを考慮して部屋を決めます。原則的に、年度途中の部屋替えはしていません。生徒数が奇数の場合は一人部屋ができることがあります。



Q： 友達とのかかわりが心配です。

A： コミュニケーションをとることが苦手を感じている生徒も少なくありません。

ほとんどの時間を“自由時間”として過ごす寄宿舍で、人間関係に不安をもつのも当然です。

寄宿舍では、日々の生活の中で、自分を主張することと、相手を尊重することも学びます。部屋のメンバーで取り組む活動としては、毎日の「部屋清掃」と「分担区清掃」があります。この時間だけは、仕事として取り組むので、相談したり、協力したりする中で少しずつ責任感を育てます。

また、日々の生活での交友は、部屋の出入りも認めていますし、共用の部屋もあります。子どもたち同士で関わる中で、徐々に慣れていくのを、指導員が見守りますが、大きな問題に発展しそうな場合には、指導員も支援に入ります。

Q： 家庭との連絡はどうしているの？

A： 寄宿舍には公衆電話がありません。また、個人持ちの携帯電話なども、帰省・帰舎中のみの使用を目的に持ち込みを許可しているので、個別に使うことはできません。そのため、寄宿舍の職員室にある電話を使うことになります。生徒は申し出れば自由に使うことができます。家庭からの伝言も、同様に職員室にて受け付けて、折り返し生徒が電話をして対応します。



Q： 『連絡帳』はあるの？

A： 学級からの連絡帳があるため、家庭の負担を考慮して寄宿舍では連絡帳を設定していません。薬など大切な準備物であっても、電話やメモでの対応でかまいません。

ただし、お子さん自身が伝えることが苦手な場合や、週末の生活の様子を伝えたい、等の要望がある場合は、ご家庭で連絡帳を準備していただくことは可能です。その場合は、担当が毎週確認し、寄宿舍での様子などを個別に記録するようにしています。

なお、お子さんの寄宿舍での生活の様子については、連絡帳の有無を問わず、全舎生に対しては、年に3回【生活の記録】として、担当からお手紙を配付するようにしています。また、電話での問い合わせにつきましても、担当が不在でも、他の指導員が対応できるようにしています。

Q： お金はどのくらいかかるの？

A： 寄宿舍で生活する上で必要になる物品（寝具、衣類、洗濯用品等）については、各自入舎するまでに準備していただくことになります。（一部は就学奨励費の対象）

入舎後の徴収金としては【舎食費】のほか、【寄宿舍活動費】と1年時は【生活体験学習費】があります。【寄宿舍活動費】は年額3,000円となっており、生徒が共通で使う消耗品や行事にあてます。年度末清算し、残額があれば返金しています。【生活体験学習費】は、期間中に生徒が食べる食材費で、平均一人3,000円程度です。

また、通常生活しているときに使う【生活費（小遣い）】については、各家庭で設定していただいています。だいたい月3,000円（週1,000円）程度の設定が多いようです。

Q： 買い物はできるの？

A： 寄宿舍では、将来の金銭管理のためにも、飲食物だけでなく、生活用品などもできるだけ自分で買い物するよう促しています。そのため、1年生でも、4月の中旬から、各自届け出をして外出します。範囲については特に指定していませんが、自由時間内に移動できる範囲となります。コンビニやスーパー、ドラッグストアに買い物に行く生徒が多いようです。また、部活動が活発になる時期からは、外出の機会を確保するため、毎週始めの19時から、指導員が引率して、夜外出（希望者対象）もあります。

Q： 寄宿舍に持ち込みできないものは？

A： 寄宿舍では集団生活を通して、いろいろな経験をする場ですので、指導環境を守る意味でも、いくつかの持ち込み禁止物を設定しています。以下のものが、判断する基準です。

- 携帯電話(※)、ゲーム、映像（画像）が撮れる・再生できる機器、通信できる機器
 - 飲食物 ● 周囲が不快に思うもの、取り扱い上危険なもの、学校生活に不必要なもの等です。
- 実際にどんなものが該当するか心配な場合は、購入（準備）の前に、直接質問するように指導しています。

※携帯電話（スマホ）については、学校の許可を受けたもののみ持ち込みは認められていますが、電源を切って、貴重品として提出するきまりになっています。



Q： 習い事をしていますが、続けられるの？

A： 1年生のうちは全員入舎としていることを考えると、寄宿舍で生活する月曜から金曜までは、みんなと同じサイクルで生活するのが基本となります。そのため、習い事などは、土曜日などに変更するなどして対応していただければと思います。

なお、定期通院などの場合は帰省して受診している方がいます。



Q： 具合が悪くなったときはどう対応するの？

A： 指導員でできる対応は限られているのが現状です。通院が必要な症状がある場合は、緊急の場合を除き、原則保護者が迎えにきて対応していただいています。ただし、現実問題として、時間帯、家庭の状況（居住地や移動手段の有無）、等々を考慮して、その都度対応しています。具体的な対応には、【入舎相談】で、家庭ごとに事前に取り決めをしています。